

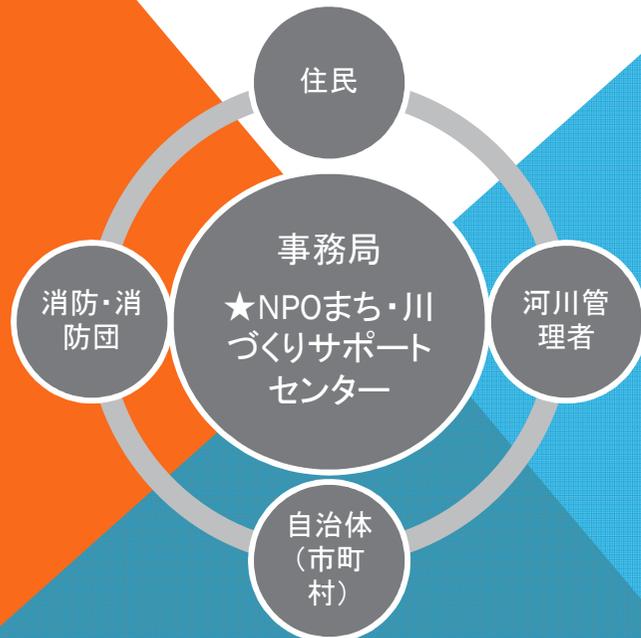
石狩川流域水難救助サポートセンターの設立主旨

平成23年の3・11の東日本大震災や台風12号などの大規模な災害に備え、平成24年度の「石狩川流域住民水難救助訓練支援事業」を通じ、今後はわたしたちNPO法人まち・川づくりサポートセンターが主体となって、水害時や河川利用時における水難事故の被害者をなくすため、住民・団体・消防さらには消防団などが、それぞれの役割分担の中で、安全な救助支援体制を構築するため、多様な主体が参加する各種合同訓練やその訓練を受講した訓練者同士のネットワークを形成することによって、お互い顔が見える関係をつくることで、今後連携した救助活動や水難事故防止活動などを行うことができる「石狩川流域水難救助サポートセンター」を設置し、これら活動を支援する事業をスタートさせました。

平成25年8月25日

石狩川流域水難救助サポートセンターの主な活動と体制

体制(構成:訓練参加者 事務局NPO)



主な活動

- 水難救助技術取得のための合同訓練の開催
- 舟漕ぎ大会(Eボートの避難提案)の開催
- 防災教育(みんとち自然体験楽校)の実施
- 水難事故防止の啓発
- 人材育成(IRI・RAC・プロジェクトWET)
- 上記の参加者のネットワークづくり(交流会・名簿の作成・ホームページの情報センターの作成)
- 消防との水難救助装備の協力